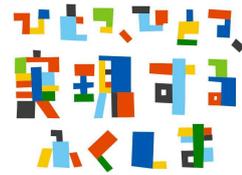


主要な農作物の生育情報

令和5年度 第9号

(令和5年12月7日)

福島県農林水産部農業振興課



【土地利用型作物】

1 大豆

収穫は成熟期が遅れた影響で作業が遅れており、11月末までに約4割の進捗状況となっています。一部、夏季の高温・少雨の影響で着莢数の減少や子実の肥大不良となり収穫皆無となったほ場があります。

2 小麦

播種は平年並に進んでおり、11月末までに約9割が終了しています。初期生育は、概ね良好です。

【野菜】

1 秋冬にら

2年株の2番刈りは、平年並の12月上旬から開始されましたが、夏季の高温の影響により株養成が十分でないほ場では、葉幅が狭い傾向にあります。また、1年株の1番刈りは、平年並の11月中下旬から始まっています。

病害虫は、一部のほ場で白斑葉枯病が見られています。

2 いちご

促成栽培の普通育苗では、夏季の高温の影響により花芽分化が遅れたことから、平年より1週間程度遅い12月上旬より頂果房の収穫が始まっています。

病害虫は、炭疽病や萎黄病が継続して発生しており、また、一部のほ場でハダニ類やコナジラミ類が見られています。

3 秋冬ねぎ

夏季の高温の影響により、生育のばらつきや遅れが見られたほ場もありますが、収穫は平年並の11月下旬から始まっています。

病害虫は、一部のほ場でシロイチモジヨトウ等が見られますが、気温の低下に伴い減少傾向にあります。

【果樹】（農業総合センター果樹研究所）

1 りんご

(1) 「ふじ」の収穫期と果実品質

「ふじ」の収穫盛日は11月25日で平年より8日遅く、満開後日数は225日で平年より24日長くなりました。

収穫期における果実品質は、果実重が334gで平年よりやや小さく、糖度(° Brix)が14.7で平年並でした。また、蜜入指数は1.6でした。

果実硬度は、13.0ポンドで平年並となりました。また、果皮中のクロロフィル含量は平年よりやや高く推移し、アントシアニン含量は平年よりかなり低く推移しました。

(2) 花芽分化率

花芽分化率（12月1日採取）は、「つがる」が82.2%で平年並、「ふじ」が73.4%で平年より

やや高くなっています。また、両品種とも一部の頂芽に褐変が見られています。

2 なし

(1) 花芽分化率

花芽分化率（11月29日調査）は、「幸水」が81.8%、「豊水」が84.7%でともに平年より高くなっています。

【花 き】

1 ストック

年内出荷の作型では、高温による花芽分化の遅れから、開花時期が平年より2週間程度遅れています。11月上旬頃から出荷が始まり、11月下旬頃から本格的な出荷となっています。今後、12月いっぱいには出荷が続く見込みです。

春彼岸出荷の作型では、定植作業が終了し、順調に生育しています。

いずれの作型においても、目立った病害虫の発生は見られていません。

2 シクラメン

高温による生育の遅れから、平年に比べ出荷が遅れていましたが、11月下旬頃から出荷が本格化しています。12月上旬時点では、5号鉢から6号鉢へ切り替わってきています。

目立った病害虫の発生は見られていません。

3 枝物

ユキヤナギは、11月末から促成を行っており、出荷は平年並の12月中旬から始まる見込みです。

サクラは、12月初めから促成を行っており、出荷は平年並の12月下旬から始まる見込みです。

目立った病害虫の発生は見られていません。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gi.jyutu03.html#seiikujyohou>